

(第2号様式)

前原第2199号  
令和8年 3月 17日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立前原高等学校  
校長 比嘉 良一  
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和7年7月22日	本校会議室	職員6名、学校評議員3名
第2回	令和7年12月18日	本校会議室	職員6名、学校評議員3名
第3回	令和8年3月13日	本校会議室	職員6名、学校評議員2名

2 学校評議員に求めた事項

- ・学校教育目標や経営目標に関することについて。
- ・学校行事等の教育活動に関することについて。
- ・進路指導、生徒支援に関することについて。
- ・学校の現状についての認識と期待することについて。
- ・学校評価の結果からみえる課題や意見について。

3 学校評議員の意見

- ・購買の導入の経緯と生徒保護者の様子について。
- ・修学旅行、海外研修の実施について。
- ・SNS絡みの問題は学校だけでは対応が難しいので警察や地域とも協力することが大切である。
- ・色々な学校情報などが前原高校のホームページに紹介されているので良い。
- ・行事が多く生徒も学校生活が充実している様子がうかがえる。
- ・学校運営において職員の努力と工夫が見られる評議員資料である。。
- ・学校評価での自由記述は、叱咤激励だと思って取り組んで欲しい。
- ・進学実績が向上した要因について。
- ・部活動の活性化について。
- ・地域のゴミ拾いや正門横幕での生徒活躍が頼もしい。
- ・80周年式典に係る進捗状況について。

4 学校運営に反映した事項

- ・購買導入を実施した。
- ・80周年事業の湛水講演会及び記念式典の実施。
- ・中学校における学校説明会の充実を図った。
- ・トイレの洋式化が実現した。

5 課題その他

- ・校則の意義の再確認し、生徒や保護者にどのように理解をえられるようにするか。
- ・現状維持ではなく、今後、より発展させていくために学校としてどのような方針で学校経営を進めていくか。
- ・教職員の働き方改革、ゆとりの実感をどのように向上していくか。